東京オリンピックを目指して！ 呂比須理沙さんが強化指定選手に

オリンピック・パラリンピックアスリート強化支援事業において、バレーボール強化指定選手に選出された高富中学校3年生の呂比須理沙さんが、5月11日に市教育委員会を表敬訪問しました。強化支援事業とは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に、県内および県にゆかりのある優秀な選手を日本代表選手として輩出するため、強化活動にかかる経費を助成する事業です。

呂比須さんは、「強化選手という自覚をもって、今後バレーボールに取り組みたい」と意気込みを語りました。

大桑小学校3年生が 田植え体験

5月12日、大桑地区の田んぼで、大桑小学校3年生の田植え体験が行われました。地域の農業を学ぶ総合的な学習の時間の一環で、大桑機械化営農組合の協力を得て行いました。はじめに組合員から昔と今の田植えの違いについて説明を受け、組合員の補助のもと田植機に試乗しました。次に、裸足で田んぼに入り、手植えを体験しました。はじめは、田んぼに入ることをためらっていた子どもたちも、慣れてくると楽しそうに苗を植えていきました。子どもたちは、楽しみながら今と昔の田植えの違いを体験することができました。

家族で農業体験 市民体験型の農園オープン

5月20日、四国山香りの森公園ハーブ園内に、市民体験型の農園を開園しました。農園は5区画あり、応募した参加者9人が5種類の夏野菜を植えました。この農園は、農地を持たない市民が対象で、参加者たちは、慣れない手つきで備中鍬や鍬を使い、畝づくりから始めました。畝ができあがると、ナスやトマトなどの苗を植えました。農業体験の参加者は、「子どもに農業を体験させることができて良かった。収穫が楽しみだ」と感想を話していました。

火遊びしません！ 幼年消防隊任命式

5月25日、市北消防署でみやま保育園、富波保育園の年長児22人が参加し、幼年消防隊任命式が行われました。任命式は、子どもたちに防火に対する意識を教えるために、毎年行われています。任命式の後、防火服に身を包んだ子どもたちは、昔ながらの腕用ポンプを使って、放水体験をしました。放水を体験した後は、消防署員から消防車と救急車についての説明を受け、真剣な表情で話を聞いていました。

山県市の偉人を知ろう！ 伊自良南小に偉人リーフレットを贈呈

5月31日、古田紹欽記念館が伊自良南小学校に、市にゆかりのある偉人を紹介したリーフレットを贈りました。リーフレットは、同記念館職員の手作りで、明治期の医師であり、実業家でもあった「早矢仕有的」、明治期に教育者として女性躍進の礎を築いた「棚橋絢子」、そして、昭和から平成にかけて活躍した仏教学者「古田紹欽」の3人の功績について、イラスト入りで分かりやすく解説しています。同記念館は、総合的な学習の時間の副教材として活用されることを期待しています。

世代を超え つながる気持ち 富岡小で花飾り贈呈式

6月2日、富岡小学校で花飾りの贈呈式が行われました。昨年、同校の福祉委員会が中心となり、全校児童で「かたたき棒」を作成。富岡小校区にある6つの福祉施設に贈りました。今回の花飾りは、子どもたちに、感謝の気持ちを伝えたいと福祉施設入所者の藤原正夫さんから贈られました。手作りの花飾りは、トイレットペーパーの芯やティッシュの箱などをリサイクルして作られたものです。子どもたちは「校内に飾って、全校で大切にしたい。自分たちのために作ってくれたことが、うれしかった」と話していました。

大門古墳群周辺を巡る 初夏の健康ハイキング

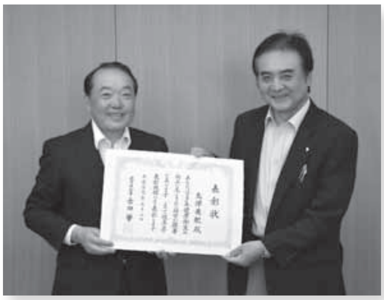
6月3日、大門古墳周辺で「初夏の健康ハイキング」が行われました。このイベントは、伊自良中央公民館と山県市観光ガイド協会がタイアップし行われたもので、市内外から16人が参加しました。当日は、初夏を思わせる日差しのなか、大門古墳を巡り、自然の風景や歴史的な景観を楽しみながら歩きました。参加者は、「市内に住んでいるが来たことのない所で、良い場所が発見できた」と語りました。

地域おこし 活動の記録を保存

伊自良中央公民館南の施設を利用して、伊自良地域で合併前から地域おこしに取り組んできた活動の記録が写真とともに保存されています。

そこには、観葉植物として商品化した「こんにゃくの樹」や会員がトウモロコシとサツマイモの収穫を体験した「観光農園モロコシ村」の活動状況や特産品の開発など、平成初期の事例を展示し、貴重な資料となっています。当時農業普及員として活動に携わり、記録を整理した小沢五男さんは、「地域が元気になるには、自ら汗をかき実践することが必要。この活動の記録が地域活性化の参考になれば」と話していました。

鳥澤英紀さんが岐阜県功労者表彰（健康衛生）を報告



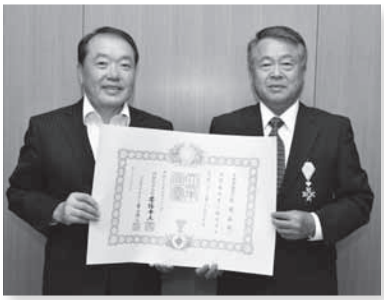
5月23日、山県医師会長の鳥澤英紀さんが、平成29年度岐阜県功労者表彰の受賞報告のため市長を表敬訪問しました。鳥澤さんは、平成14年4月に山県医師会長に就任、平成16年4月からは岐阜県医師会常務理事としても就任されています。日ごろから行政と医師会との連携に尽力し、このたび15年間会長を務められた功績が認められ受賞となりました。「皆さんの支えで長年医師会長を務めることができ、今回の受賞となりました。今後も精進していきたい」と鳥澤さんは話しました。

村瀬伊織さんが岐阜県功労者表彰（市町村行政）を報告

5月16日、元市議会議員の村瀬伊織さんが、平成29年度岐阜県功労者表彰の受賞報告のため、副市長を表敬訪問しました。

村瀬さんは、平成3年10月に高富町議会議員に初当選。以来、合併までの連続3期11年6月在職。また、山県市として市制施行した平成15年4月から平成28年4月までの連続3期13年1月と長きにわたり在職し、議長などの要職も務めました。多年、議員として地方自治の振興に尽くした功績が認められ、このたびの受賞となりました。

武藤嘉邦さんが瑞宝双光章（叙勲）を報告



5月15日、消防関係叙勲伝達式が行われ、元市消防団長の武藤嘉邦さんが長年の消防に関する功績が認められ、瑞宝双光章を受章しました。武藤さんは、在団中に消防団長としての優れた業績が認められ、藍綬褒章を受章しています。

表敬訪問で、武藤さんは「このたびの受章は、多くの皆さんの支えがあってこそだと感じております。お世話になった皆さんに、改めて感謝申し上げる次第です」と受章の感想を述べました。

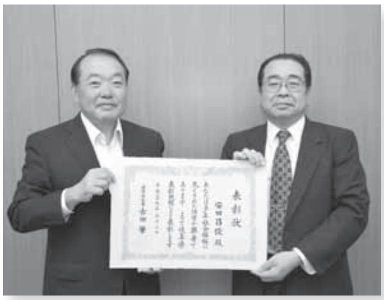
胃カメラ巡回検診車　始動

5月25日、胃カメラ巡回バスによる胃がん検診が保健福祉ふれあいセンターで行われ、13人が受診しました。胃カメラの巡回検診車を導入した自治体は全国で初めてで、胃がん検診の受診率を2020年までに40％に上げることを目指します。受診した人は、「家から近くで受診でき、今までよりも予約しやすく、便利になった」と話をしていました。巡回検診は、11月まで市内各地で予定されています。

吉村ふ志枝さんが100歳を迎える

6月3日、吉村ふ志枝さんが100歳の誕生日を迎えました。吉村さんは23年間、市内水栓会社に勤められました。健康の秘けつは、「思ったことは何でも口にしてストレスをためないことと、農作業で体を動かすこと」とのことです。98歳までは息子夫婦と3人で暮らしていましたが、現在は、介護老人保健施設に入所しています。

安田昌俊さんが岐阜県功労者表彰（社会福祉）を報告



5月25日、安田昌俊さんが、平成29年度岐阜県功労者表彰の受賞報告のため市長を表敬訪問しました。

安田さんは、平成7年に里親登録され、平成9年に岐阜地方里親会会長、平成12年には岐阜県里親連合会副会長に就任されました。この3月末にそれぞれの役職を辞するまでの20年間、里親をつなぐ活動に尽くした功績が認められ受賞となりました。

「家族のおかげで里親を支援する役割を果たせた。今後はアドバイザーとして支援していきたい」と安田さんは話しました。

地域を守る誇りを胸に

第15回山県市消防操法大会

【ポンプ車操法の部】

優　勝　第1分団
準優勝　第2分団

最優秀選手（番員賞）

指揮者　第1分団　山田　昭二
1番員　第1分団　角川　一馬
2番員　第1分団　橋枝　直
3番員　第1分団　長江　英臣
4番員　第2分団　安田　優作

消防団による消防技術を競う第15回市消防操法大会が、5月28日、伊自良総合運動公園で行われました。

ポンプ車操法の部に4チーム、小型ポンプ操法の部に10チームが参加し、消防操法の技術・安全性、確実性やタイムを競いました。

なお、ポンプ車操法の部で優勝した第1分団は、8月6日(日)に瑞穂市で行われる第66回岐阜県消防操法大会に市代表として出場します。

【小型ポンプ操法の部】

優　勝　第5分団
準優勝　第1分団
第3位　第9分団

最優秀選手（番員賞）

指揮者　第4分団　棚村　湧太
1番員　第9分団　川端　康司
2番員　第1分団　藤澤　准二
3番員　第2分団　藤芳　靖雄

1 ポンプ車操法の部優勝 **第1分団**	2 ポンプ車操法の部 **番員賞**
3 小型ポンプ操法の部優勝 **第5分団**	4 小型ポンプ操法の部 **番員賞**

1

2

3

4